

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-1-4	事業名	みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業				
担当	環境局みどりの推進部みどりの管理課 梅津 211-2536						
全体計画							
事業内容	公園緑地の利活用促進、ボランティア活動や公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充のため、市民との協働のもと各種取り組みを一体的に実施する。 公園緑地の利活用促進 9,500千円 ・利活用促進に関する市民プロジェクトを設置し、イベントなどの企画・実施、効果的な情報の受発信の検討・実施などを行うとともに、積極的な情報提供を行うため、拠点機能の充実強化・新設などによる拠点とネットワークづくりを進める。 公園・森林ボランティア活動の拡充・促進 7,000千円 ・ボランティア活動の事例紹介、情報提供、募集PRなどの普及啓発、必要物資の提供や技術指導など支援の充実を図る。また、森林ボランティア等との協働により、現況把握のための立木・選木等調査を行い、管理方針を策定する。 公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進 0千円 ・市民への提供に向けた市民との協働により公園樹木落葉等の腐葉土化や、剪定枝等の有効活用を進める。(事柄のみ計画化通常公園管理、ごみ減量事業で対応)			<年度別の事業内容> 同左事業を単年度ごとに実施していく。			
	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
事業内容・量・場所・規模・件数等	<p>公園緑地の利活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モエレ沼公園チューブスライダー実施(4日間延390人来場) ・市民団体と共催によるイベント実施 旭山記念公園でイグルーやかんじき作り講習(50人参加) 南区内公園数カ所での冬の遊び講座 ・札幌ふれあいの森子ども向け森づくり体験会実施(30人参加) ・市民団体との冬の公園利用促進の検討会、児童会館との子ども企画会議、大学生による遊びツール作成、市民団体とのカーボンオフセットの森づくり検討会、国・道・市連携事業の検討実施 森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 ・公園ボランティア団体の活動へ必要資材等を提供(8公園) ・森林ボランティアの安全作業講習会実施(4回60人参加)、専門家派遣(3回)、協働での調査・管理方針策定(1カ所/常盤)、登録制度の拡充に向けた検討 公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進 ・2カ所設置、各区・団体の取組状況把握・課題整理等を実施 			<p>公園緑地の利活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モエレ沼公園チューブスライダー実施(冬休み期間10日間) ・市民団体と共催によるイベント等実施 カーボンオフセット「サミットの森」等の実施(1回)他 ・児童会館との連携による子供企画によるイベント実施(2日間) ・札幌ふれあいの森子供向け体験会等実施(2回) ・国(滝野)道(真駒内)市(ふれあいの森)連携イベント(9日間) ・市民参加プロジェクト設置による利活用促進の検討・実施 森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 ・公園・森林ボランティア普及啓発 チラシ等作成・配布 ・公園ボランティア団体の活動へ必要資材等を提供 ・新たな森林ボランティア登録制度による促進・支援実施 ・森林ボランティア安全作業講習会実施、専門家派遣、協働での調査・管理方針策定(5カ所) 公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進 ・仮称「落葉の貯金箱運動の展開」(堆肥ヤード)設置(2カ所) 			
達成目標の状況							
項目	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)	
公園緑地ボランティア登録団体数(累計)	31団体	37団体	41団体	45団体	50団体	50団体	
[公園緑地]利活用促進のためのイベント等実施数	-	15回	42回	70回	100回	100回	
[参考] 堆肥ヤード設置カ所数 [市民参加による堆肥化・配布等の実施カ所]	6カ所	8カ所	10カ所	14カ所	18カ所	18カ所	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加</p> <p>利活用促進では、市民団体との連携によるイベント実施、児童会館・大学生・国・道・道内市町村との参加によるイベント検討など市民・団体はもとより幅広い主体との連携を進めている。ボランティア活動に関しては全て市民・団体の参加・連携によるものである。リサイクル活動では、集草・堆肥化・配布の各段階でボランティア団体、町内会、小学校等の参加・連携により実施している。</p> <p>企業等との連携・協働</p> <p>[資金協力] 国(滝野)道(真駒内)市(ふれあいの森)連携イベントへの協賛、「サミットの森づくり」は企業資金により実施予定</p> <p>[人材協力] -</p> <p>[情報協力] イベント告知などに情報誌発行企業の協力を得ている。</p> <p>[その他の協力] イベント企画などの検討に協力を得ている。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p> <p>イベント実施では、市民団体等と連携することで、多くの市民が参加する魅力あるイベントとするよう努めている。森林ボランティア制度見直しとして、団体登録に加え活動を希望する個人登録と受入団体登録を追加し、より多くの市民が参加しやすい制度とした。リサイクル活動では、より多くの市民が参加できるよう収集・堆肥化・配布などの各段階での参加を進めている。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-1-4	事業名	みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業				
評価(成果)		課題					
<p>公園緑地の利活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動団体・市民・学生・児童・企業・行政機関等多様な主体の参加・連携・協力により、魅力ある内容や新たな実施形態などによるイベント等が検討・実施され、堅実に公園緑地の利活用促進を図りつつある。 市民団体が自らイベントを開催するなど、市民が主体となった公園の利活用促進が図られた。 <p>公園・森林ボランティア活動の拡充・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 着実にボランティア登録団体が増えており、継続して普及啓発や支援等を実施するとともに、講習会開催等技術的支援、市民との協働による立木調査や管理方針策定など森林管理の推進を図った。 森林ボランティア制度見直しにおいて、より多くの市民参加を可能とする仕組みづくりを進めた。 <p>公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ減量など環境問題への関心の高まりと相まって、区を中心に市民参加による活動促進が図られ、実施力所が増加した。 		<p>公園緑地の利活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> さらなる公園の利用促進に向け、市民、学生、活動団体、企業等の参加による市民プロジェクト設置やワークショップなどを通じて市民ニーズの的確な把握や新たな視点に立った参加・連携による公園緑地の利活用の検討・実施、資金協力など企業等との連携・協力を図ることが必要である。 <p>公園・森林ボランティア活動の拡充・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> より積極的な普及啓発や団体等が必要とする支援の充実を図る必要がある。 道が来年度導入予定の「仮称森林環境税」の用途として掲げる市民による植樹運動展開など本市への対応が求められる。 <p>公園樹木落葉等リサイクル活動の拡充・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ有料化・資源物の取扱変更などさらなるごみ減量への本市取組を踏まえ、より多くの市民参加による公園樹木落葉等のリサイクル活動の効果的な促進を図る必要がある。 					
今後の事業の予定・方向							
<p>「公園緑地の利活用促進」、「公園・森林ボランティア活動」、「公園樹木落葉等リサイクル活動」について、類似・関連事業の統合により効率的な事業実施を図ることとする。また、事業内容について適宜見直し・改善を図り、効果的な事業展開をする。</p> <p>公園緑地の利活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 利活用促進の主体を市民・活動団体・企業等とし、検討・企画・実施の過程に市が参加する立場へと移行されていくよう誘導を図り、支援・協力などを充実する方向をめざしていく。 <p>公園・森林ボランティア活動の拡充・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「仮称森林環境税」の効果的な活用により、本市におけるボランティア活動の拡充・促進を図っていく。 <p>公園樹木落葉等リサイクル活動の拡充・促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な活動展開を図りつつ、要望・需要に応じて、実施力所を拡大していく。 							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	4,225	4,225	4,225	3,825	16,500	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,225	4,225	4,225	3,825	16,500
予算	事業費	3,375	3,330	-	-	6,705	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
		一般財源	3,375	3,330			6,705
実績	事業費	2,021	-	-	-	2,021	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	2,021				2,021
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				32.4%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
3つの既存小事業による予算付及び事業実施に至ったため計画との差異が生じた。							
[20年度]							
3つの既存小事業を統合し1事業としたが、既存小事業ベースの予算付となったため計画との差異が生じた。							